中学校１．２．３学年　保健体育科　「球技 及び 保健」

デジカメや電子ボードを活用した 保健体育の指導

１　単元名

「球技（ソフトボール）」

「保健（心肺蘇生法）」

２　活用場面

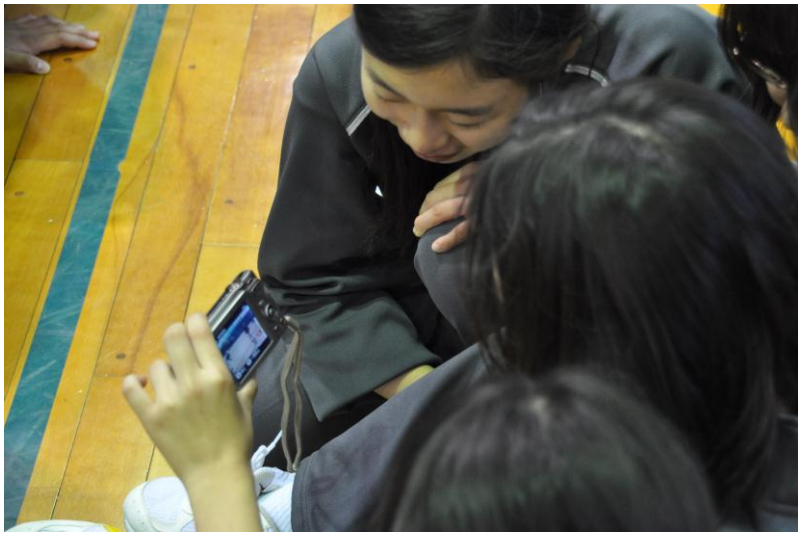
○捕・投球の基礎練習
（ソフトボール）

○防災センターが作成した DVD 視聴
・心肺蘇生法での普段通りの呼吸と死戦期呼吸の違いを知る
（心肺蘇生法）

３　活用のねらい

○デジタルカメラを使用し、捕・投球の理想的なフォームと自己のフォームを比較する。少人数グループでの活動によって、学び合いや高め合いに期待ができる。
（ソフトボール）

○移動式電子ボードを使用し、説明と実習の一連の合理化を図る。
（心肺蘇生法）



４　活用のポイント

（１）グループ活動（ソフトボール）

○身近な仲間による野球部の模範協力、デジタルカメラで撮影した捕・投球の理想的なフォームの動画を少人数グループで観察した。
○動画を見せ、理想的なフォームとは、どこが良いポイントなのか、また自分達とはどこがどのように異なるのかを考えさせ、さらに全体の場で意見交換をさせることが出来た。
○交換した意見をもとに、捕・投球の理想的なフォームを自分達のものに出来るよう少人数グループでもう一度振り返りながら声をかけ合い活動した。

（２）移動式電子ボード（心肺蘇生法）

○心肺蘇生法の授業で死戦期呼吸のモデル展示などを閲覧した。
○学習の中でプレゼンテーションを用い、視覚的な理解を深めた。

５　成果と課題

活用場面においては生徒の意欲や理解を深めることができた。
生徒がより効率よく自分の運動を客観的に見ることができるような工夫改善が今後の課題である。